

- 2022年国民平和大行進「和歌山→広島コース」は6月8日三重県入りし、紀宝町で和歌山県からリレー旗を引き継ぎました。
- 行進団は8日、東紀州路の七つの自治体を訪問し、懇談や歓迎式で自治体と共同を深めました。



紀宝町役場前で和歌山から引き継ぎ



御浜町役場の第五福竜丸エンジン引き揚げ記念碑前の山口詔利三友会会長

- 今年の三重県の平和大行進の特徴の一つは、三友会（三重県原爆被災者の会）のがんばりです。ロシアによるウクライナ侵略と核兵器使用の脅迫に被爆者として黙ってられないと、山口同会長は東紀州路の全自治体訪問に同行、さらに鳥羽市、津市の行進・集会にも連日のように参加されています。
- 紀宝町、御浜町では町長・議長の出迎えと挨拶を受け、ペナントと協賛金を受け取りました。御浜町と紀北町では町職組からも行進団への募金を頂きました。
- 熊野市からは市長・議長からメッセージと協賛金、ペナントを頂戴しました。国道沿いでスタンディングを実施し、ドライバーの注目を集めました。
- 尾鷲市では副市長と懇談。市長・議長からの協賛金とペナントを受け取り、庁舎前で自治労連の組合員などでスタンディングを行いました。

- 10日は志摩市と鳥羽市を行進。鳥羽市は庁舎前で市主催の歓迎式があり、市長と議長が出迎えて激励の挨拶をされました。志摩市でも庁舎前で市長メッセージを頂きました。



鳥羽市役所前の歓迎式。右・市長。その左・議長。



朝日町役場前で訴えるウクライナ人のアンナさん。

- 三重県の行進は10日に北勢コースの「いなべ→東員」コースを皮切りに、11日菰野コースの後、12日から桑名→四日市コースも始まり、鈴鹿→津へと南下しました。南勢コースは13日伊勢市、14日松阪市、同14日に南勢・北勢・久居の3コースが津市で合流しました。
- 北勢コースの菰野町では庁舎内で町長・議長・教育長が参加した町ぐるみの集会と行進になり、出発集会では3人の高校生が「菰野町非核都市宣言」を読み上げ。ここでも県在住のウクライナ女性2人によるスピーチと行進の参加もあり、参加者の感動を呼びました。